

飯田市歴史研究所
17.06.01
歴研ニュース 飯田市

News Letter

No. **88**

The Iida City Institute
of Historical Research

2017年6月1日 発行

飯田市歴史研究所

〒395-0002

長野県飯田市上郷飯沼3145

TEL 0265-53-4670

FAX 0265-21-1173

E-mail iihir@city.iida.nagano.jp



第15回飯田市地域史研究集会 地域の歴史を描く

2017年
7月30日(日) 10:00～16:30

今回の研究集会では、“地域の歴史を調べて書き記す”ことについて考えます。セッションIでは、近年行われた、あるいは現在進行中の地域史編さんの事例を取り上げます。セッションIIでは、自分史や歴史的景観の視角から地域史を考えます。歴史研究所のみならず、さまざまな人びとによる多様な取り組みに学びながら、地域の歴史を書き記すことの意義や可能性、これからの課題などを探りたいと思います。



飯田市上郷飯沼



飯田市鼎下茶屋

セッションI 地域の全体史を考える 10:35～

報告◆「対話を通じて地域を描く—飯田での経験から—」 多和田 雅保(横浜国立大学)

◆「鼎中平区誌編纂にあたって」 吉田 治忠(中平区誌編纂委員会)

◆「ふるさと学習教材を作るにあたって」 渡邊 義昭(上郷公民館ふるさと学習教材編集委員会)

セッションI 討論

コカリナ演奏(清内路コカリナをふきまい会) 13:20～

セッションII 自分史・歴史的景観から考える 13:45～

報告◆「「個」の歴史から地域を見る—「自分史」が問い直すもの」 安岡 健一(大阪大学)

◆「記憶としての景観」 樋口 貴彦(飯田市歴史研究所)

◆「伊那市通り町一丁目商店街の街並み景観—街並み景観のミニチュア表現—」 小平 和夫

セッションII 討論・全体討論

会 場 飯田市役所 C棟3階会議室(飯田市大久保町2534)

資料代 500円(高校生以下無料)

主 催 飯田市・飯田市教育委員会

※研究テーマに合わせて、飯田市立鼎・上郷図書館で企画展示を開催します。

鼎図書館「ますます充実、鼎の地区史」7月29日(土)～8月24日(木) / 上郷図書館「ふるさと上郷を知る」7月29日(土)～8月24日(木)

歴史研究所の利用制限について(お知らせ)

飯田市歴史研究所では今年9月の旧鼎東保育園施設へ移転に向けた作業を進めています。

(移転場所の位置等の情報については2面をご覧ください。)

移転作業で収蔵史料(原文書など)を整理する関係から、5月から史料(書籍以外)の利用を休止させていただいています。今後、7月以降につきましては、書籍等の閲覧利用も休止させていただきます。これに伴い原則としてレファレンス(調査・相談)も資料に基くお答えはできなくなります。また、9月の移転前後には臨時的休所日を設けていく予定です。

利用制限の内容と期間の詳細は、広報いいだや飯田市ウェブサイトの歴史研究所のページ [https://www.city.iida.lg.jp/soshiki/39/20170601.html] でご案内します。

歴史研究所の利用を希望される方は、事前にお問い合わせくださいますようお願いいたします。ご不便をおかけしますが、ご理解ご協力をお願いいたします。

共同研究	基礎調査	A 史料所在状況調査	千葉 拓真	課題研究	A 小学校区を単位とする地域社会の文化構築に関する歴史的研究	多和田 真理子
		B 史料現状記録調査	千葉 拓真		B 山里の分節的把握—阿智村清内路を素材として	吉田 伸之
		C オーラルヒストリー調査	齊藤 俊江		C 近世山里社会の存立条件に関する研究	吉田 ゆり子
		D 歴史的建造物調査	樋口 貴彦		A 飯田・上飯田	多和田 雅保
		E 歴史的公文書調査	羽田 真也		B 座光寺	千葉 拓真
		F 在外史料調査	吉田 伸之		C 南信濃・上村	樋口 貴彦
		G 古代・中世史料収集	北村 安裕		D 川路	羽田 真也

基礎研究	顧問研究員	吉田 伸之	「小規模伝統都市・飯田の社会＝空間構造」2
		大串 潤児	「村と戦争」に関する総合的研究
		加藤 陽子	森本寿平日記を読む
		田嶋 一	飯田・下伊那の教育・人間形成についての教育社会史的研究
		吉田 ゆり子	下伊那地域における身分的周縁に関する研究
			飯田市域における中世城館・近世城郭の歴史的研究
		多和田 雅保	近世・近代の飯田町を中心とするネットワークの研究
	研究員	千葉 拓真	近世飯田・下伊那における領主間ネットワークと地域社会に関する研究
		樋口 貴彦	ランドスケープに適応した多様な暮らし方と建築文化に関する研究
		羽田 真也	近世信州伊那地域における村社会の構造—座光寺村を素材として—
	調査研究員	原 英章	満蒙開拓青少年義勇軍の送出についての史的研究 飯田市平和祈記念館資料室所蔵資料の歴史的調査 戦争末期における飯田下伊那の動き
		齊藤 俊江	下伊那と満洲移民 近代飯田遊廓の形成から廃止の過程の歴史
		本島 和人	下伊那郡町村長会による満洲農業移住地視察の再検討
		竹ノ内 雅人	飯田・下伊那地域の寺社と地域社会に関する基礎的研究
		田中 雅孝	近代養蚕地帯における都市と農村
		多和田 真理子	小学校の設置・運営と地域の関わり—日誌類の分析を中心に—
		安岡 健一	飯田下伊那における社会教育の歴史的研究
	市民研究員	栗谷 真寿美	歴研ワークショップにおける自主ゼミ運営の模索—自分史ゼミの活動を通して—
		清水 迪夫	下伊那青年会と『伊那青年』
		橋部 進	胡桃澤盛の社会認識の変遷—ムラ社会の中で
		林 武史	飯田の街角の文字デザインと歴史を見つめる

歴史研究所 移転先情報

1面でお知らせした移転先の位置情報は下記のとおりです。

【移転先住所】

〒395-0803

長野県飯田市鼎下山538(旧鼎東保育園)

【アクセス】

中央高速道路 飯田ICから車で13分

J R 飯田線 下山村駅から徒歩6分



旧鼎東保育園



日々の生活と「草の根文書館の思想」

多和田 真理子 (歴史研究所調査研究員・相模女子大学専任講師)

飯田から鎌倉に転居して1年半ほど経った2009年、かまくら女性史の会に加わった。市の委託事業として『かまくらの女性史』の編纂を行うため始まった会で、聞き書き集2冊、年表1冊を刊行し、最後に通史をつくる準備段階だった。

会員の方たちは歴史研究の専門家ではなく、自分たちは「普通の市民」だという。けれども全然「普通」ではない(いったい「普通」とは何だろう)。それぞれの分野で活躍しつつ、その視点を歴史研究に生かしている。その結びつきが面白い。市民による地域史研究の実践を、飯田での日々が続いて鎌倉でも経験することになった。通史の刊行により女性史編纂事業は終了したが、会は継続し、現在も精力的に活動している。

最近「パヴロバ資料」に関する活動に力を入れている。ロシア革命の亡命貴族であるパヴロバ姉妹は、鎌倉の七里ガ浜にバレエ教室をひらき、多くの弟子を育てた。鎌倉が日本バレエ発祥の地といわれるゆえんである。姉のエリアナは第二次大戦中に慰問先の中国で病死したが、妹のナデジタは戦後も長年にわたりバレエ教室の運営を続けた。その姉妹が残した資料(ノート、メモ、手紙類、舞台衣装など)は、現在鎌倉市が所蔵している。

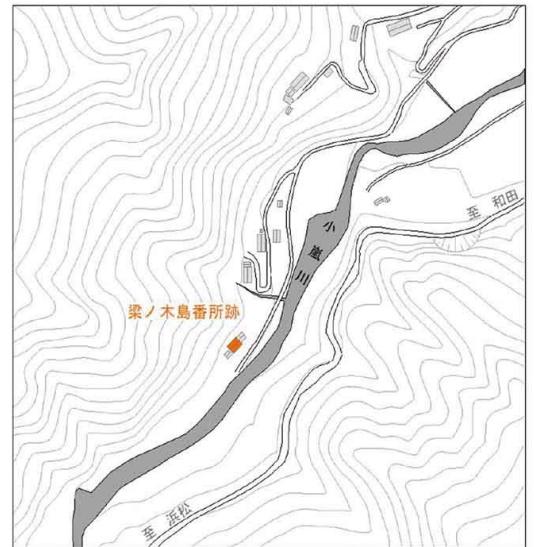
先日、その資料を新国立劇場に移管する話が持ち上がった。より高度な環境で保存し、専門的な研究に活用するとの理由からだ。それに女性史の会などが反対したのである。会員たちが語ったのは、地域に関わる資料がその地域にあることの重要性だった。資料がその地域を離れてしまうことで、そこに住む人たちのアイデンティティがひとつ失われる、地域のために資料が「ここにある」ことが大事だ、という。これはまさに、日々の生活感覚からくる「草の根文書館の思想」(安藤正人氏)だと感動した。

私自身は、本で学び史料調査経験で実感してきたが、いくら言葉を達者にしても、生活感覚からくる声の重みにはかなわない気がした。結局移管は見送られ、女性史の会では現在、文書撮影や読解を進めている。私も彼女たちの熱意とパワーを見習い、活動を続けたい。

飯田・下伊那の歴史と景観 その5 国境の景観



青崩峠から遠山谷を望む



梁ノ木島番所の地図

(参照 飯田市発行10000分の1地形図)

標高1082mの青崩峠は、北の飯田市と南の浜松市に連なる急峻な谷筋に位置している。1572(元亀3)年には、武田信玄の一軍がこの峠を通り、徳川領へ侵攻したことで知られている。今では人影のない山道も、かつては秋葉神社へ参拝するための信仰の道として、また内陸に塩を届ける塩の道として人々や物資の往来があり、峠付近には往事の痕跡を示す社や茶屋跡、石畳が残されている。この地が近世まで交通の要所であったことは、峠の北側(写真)を流れる小嵐川の畔に建つ梁ノ木島番所の存在によりうかがい知ることができる。1615(元和元)年に遠山領を治めていた遠山土佐守景直により設けられた当初の番所は、峠の北麓「はんの木」に位置していたと伝えられ、1783(天明7)年の山崩れの後、熊伏山の東面で小嵐川の河原に面した現在の場所に移され、1870(明治3)年まで番所の役を担ってきた。現在工事中の、三遠南信道が開通すると、1843(弘化3)年に改修された番所の前を多くの車が行き交うことになり、この谷筋は今、再び交通の要所になろうとしている。(研究員 樋口 貴彦)



梁ノ木島番所

飯田アカデミア2017 第81講座

イタリア・トスカーナの 丘陵都市形成の歴史と景観

9月24日 第1講 10:00~11:30
第2講 13:00~14:30

第1講 シエナの都市形成と中世の都市計画 (仮)
第2講 カンポ広場と未完の大聖堂拡張事業 (仮)

講師 野口 昌夫さん (東京芸術大学美術学部建築科教授)
会場 飯田市役所 C棟3階会議室 (飯田市大久保町2534)
受講料 500円 (資料代)

※1講義のみでもご参加いただけます。事前のお申込みは必要ありません。
お気軽にお越しください。

定例研究会

「近世京都における大名家の活動と呉服所・御用達
—信州飯田藩を事例に—」

開催日: **6月17日** 14:00~16:00

報告者: 千葉 拓真 (歴史研究所 研究員)

場所: 上郷公民館103会議室 (飯田市上郷飯沼3092-9)

※定例研究会はすべて公開で行っています。どなたでもご参加いただけます。

歴研ゼミ&ワークショップ 6月・7月の予定

スタッフとともに
歴史を学んでみませんか。

近世史ゼミ 担当: 千葉拓真 (研究員)

6月6日 上郷公民館201会議室・20日 上郷公民館101会議室

7月4日・18日 上郷公民館201会議室

(第1・第3火曜日) 19:00~20:40

近現代史ゼミ 担当: 田中雅孝 (調査研究員)

6月10日/7月8日 上郷公民館201会議室(第2土曜日) 10:00~11:40

満洲移民研究ゼミ 担当: 本島和人 (調査研究員)

第72回 6月3日 上郷公民館201会議室 (第1土曜日) 10:00~11:40

※7月は休講いたします。

地域史(川路)ゼミ 担当: 羽田真也 (研究員)

6月14日・28日/7月12日・26日 (第2・第4水曜日) 18:30~21:00

※地域史(川路)ゼミは、毎回川路公民館 2階視聴覚室で行います。

思想史ワークショップ 市民の皆さんが自主的に学び合う場

6月7日 上郷公民館202会議室・21日 上郷公民館102会議室

7月5日・19日 上郷公民館202会議室 (第1・第3水曜日) 19:00~20:40

自分史ワークショップ 市民の皆さんが自主的に学び合う場

6月24日 上郷公民館201会議室・7月22日 上郷公民館103会議室

(第4土曜日) 14:00~15:30

建築史ゼミ ※現在休止中です。10月から再開予定です。

ゼミ・ワークショップの詳細・お申込みについては、歴史研究所までお問い合わせください。TEL: 0265-53-4670

開所時間: 午前9時~午後5時 休所日: 日曜日・月曜日・祝日・12月29日~1月3日

2017年申請 研究活動助成募集

飯田・下伊那地域の歴史をテーマにした研究活動を助成します。

応募資格

- ・飯田市内または下伊那郡内に住所を有する団体
- ・大学の卒業論文または修士論文を作成するための研究を行う者

研究期間

平成30年2月まで

助成の条件

- ・飯田・下伊那地域の素材を用いたオリジナルな歴史研究の成果であること。
- ・新たに得た史料所在情報については、研究所に提供すること。
- ・研究成果の口頭による発表を所定の時期に研究所で行い、併せて研究所の刊行物を通じて公表すること。

助成金額

団体および卒業論文…10万円以内

修士論文…15万円以内

申請手続き

提出書類…研究計画書(所定の用紙は飯田市ホームページからダウンロードできます。)

提出期間…平成29年6月30日(金)まで

審査方法

歴史研究所研究部が行います。

研究論文等の提出

提出期限…平成30年2月28日(水)

助成金の交付

助成金の交付は、助成の条件等に関して必要な審査を行い、交付することが適当と認めたものについて、平成30年4月までに行います。

※詳しくはホームページ[<https://www.city.iida.lg.jp/soshiki/39/20160704-2.html>]をご覧ください。

市民研究員候補の募集

飯田・下伊那の地域史研究などを担う研究者を育成するため、市民研究員候補を募集します。

主な活動

- ・市民研究員候補の活動期間は原則として2年間
- ・歴史研究所研究員の指導により研究論文を作成
- ・歴史研究所の諸活動に参加(修了後は市民研究員として活動していただきます)

※詳しい応募資格・条件などは、ホームページ[<https://www.city.iida.lg.jp/soshiki/39/20160602-2.html>]をご覧ください。

募集人数

若干名

応募方法

研究テーマ・研究計画・志望動機を記入し、歴史研究所に提出してください。(所定の用紙は飯田市ホームページからダウンロードできます。)

募集期間

平成29年6月1日(木)~平成29年7月29日(土)

審査

面接と書類審査を行い、8月末日までに採否をお知らせします。